

令和五年度 岡山県立林野高等学校

特別入学者選抜 選択実施する検査（小論文）

【注意事項】

- 一 検査で、指示があったら、解答用紙と問題冊子をすべて調べなさい。解答用紙は一枚、問題冊子は1〜7ページです。もし、やぶれていたたり、印刷のわるいところがあったりした場合は、手をあげて監督の先生に言いなさい。
- 二 受検番号は、解答用紙に示してある部分に算用数字横書きで書きなさい。
なお、解答用紙に、中学校名や氏名を書いてはいけません。
- 三 解答は、楷書で、誤字・脱字がなく、判読できるように丁寧に書きなさい。
- 四 字数制限のある解答は、一マスに一字ずつ書きなさい。句点（。）、読点（、）、括弧、アルファベット、その他の記号等もすべて一字として書きなさい。
- 五 解答用紙に印刷してある

※

 には、何も書いてはいけません。
- 六 解答用紙は、提出しないと、すべての検査が無効になります。注意しなさい。

問題

次の文章は高校生のアキラさんと先生との【会話文】である。

【会話文】

先生「次の連休はどのように過ごす予定ですか。」

アキラ「部活動も休みなので、普段できないことをしたいと考えています。」

先生「それはいいことですね。ところで、最近本を読みましたか。」

アキラ「実は、高校生になって読書はあまりできていません。先生は高校生の時にたくさん本を読んでいたか。」

先生「はい。できるだけ読むようにしていました。ところで、読書については、このような【資料】があります。これを見て、どのようなことが分かりますか。」

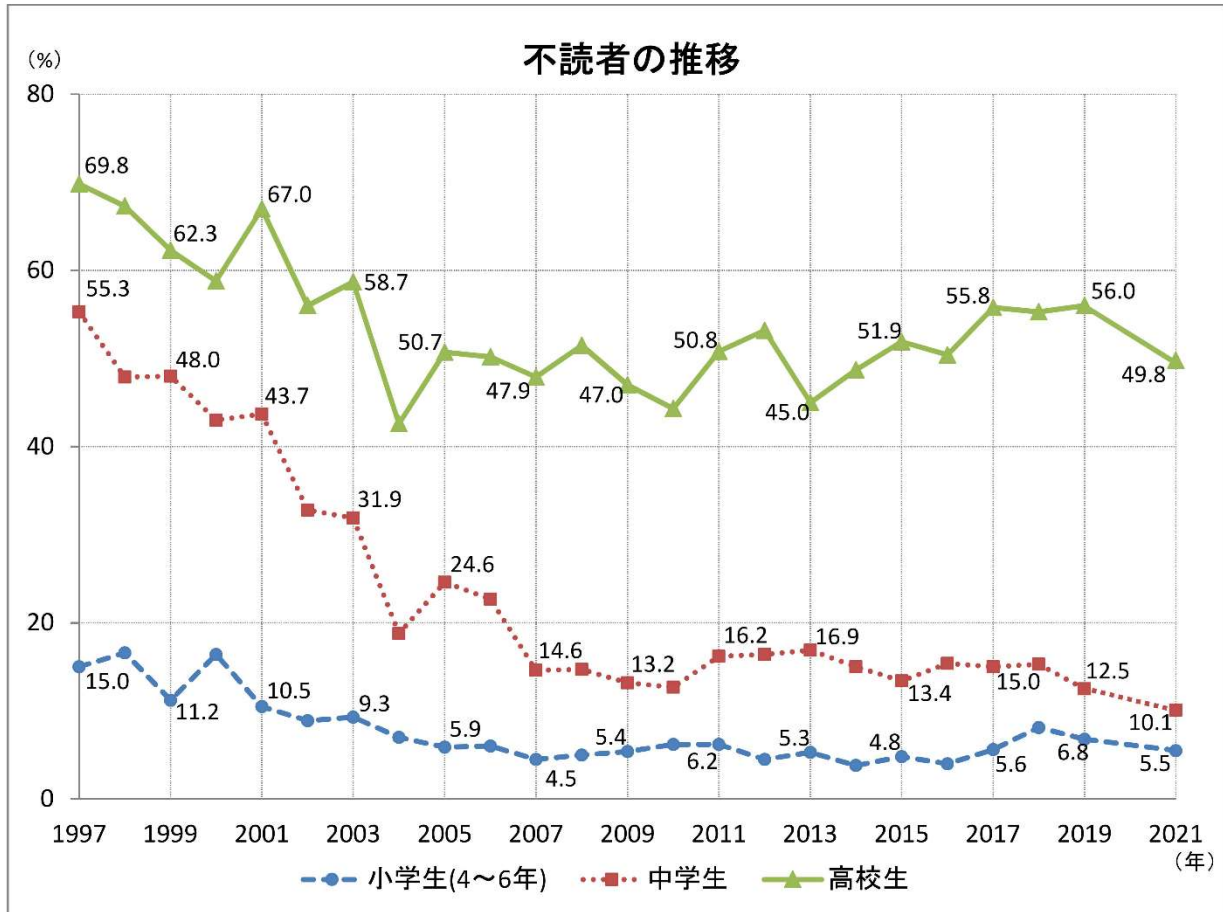
アキラ「私と同じように、高校生は本を読まなくなる傾向があることが分かります。」

先生「そうですね。もっと高校生に本を読んで欲しいですね。そういえば最近、酒井邦嘉さんの『脳を創る読書』という本を読みました。今、手元にあるので、アキラさんも読んでみませんか。読書がもたらす効果について分かると思っています。」

アキラ「ありがとうございます。さっそく、連休中に読んでみます。」

【資料】

次のグラフは、全国学校図書館協議会、毎日新聞社が行った「学校読書調査」から作成したものである。



※この調査では、5月1か月間に読んだ本が0冊の児童生徒を「不読者」と呼んでいます。

※2021年学校読書調査について

調査時期：2021年6月第1・2週

調査対象：全国の小学生(4~6年生)・中学生(1~3年生)・高校生(1~3年生)の抽出調査

《小・中学校は都市規模別、高校は学科別にサンプル校を抽出し、各学年1クラスで実施》

小学生：1994人 中学生：1971人 高校生：4902人

問一 【資料】について、以下の設問に答えなさい。

(1) 不読者の推移のグラフから読み取れることとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 高校生の一九九七年と二〇二一年のデータを比較すると二〇二一年は二〇%も減少しており、本を読まなくなったといえる。
- イ 高校生の推移を見ると、二〇一三年から二〇二一年の間では本を読んでいる割合が一番高いのは二〇一九年である。
- ウ 一九九七年から二〇二一年の間では不読者の割合は小学生が一番少なく、高校生が一番多いことから、小中高と年齢が上がるにつれ本を読まなくなる傾向が読み取れる。
- エ 高校生の推移を見ると、不読者の割合が六〇%を超えているのは五回だけである。

(2) 次の文の にあてはまる整数を答えなさい。

二〇二一年の調査では、高校生の不読者の人数は中学生の不読者の人数の約 倍になっている。

アキラさんは、先生に紹介された本を読んでみることにした。

「脳の特性と不思議を知る」という章では、人間の想像力について述べられていた。その中で、ある作業について、次のような【説明】があった。

【説明】

その手順は実はとても簡単です。まず異なるグループに分けます。もちろん、必要とされる量によっては、ひと山で十分でしょう。設備がないためにどこか他の場所へ行かねばならないならば、それが次のステップですが、そうでなければこれで準備万端です。やりすぎないことが大切です。一度には多すぎるより少なすぎるほうがよいのです。さしあたりは、これは重要なように思えないかもしれませんが、面倒なことが起こりやすいです。一つ間違うと高くつくことにもなり得ます。最初は全体の手順が複雑なように思えることでしょう。しかし、すぐにそれは生活の一部となることでしょう。近い将来この作業の必要性に終わりがくることは予見しがたいのですが、決して誰にもわからないのです。その手順が終了した後は、それらを再び異なるグループに分けます。そしてそれらはそれぞれの適切な場所に置かれます。結局、それらはもう一度使われるでしょう、この全体のサイクルはまた繰り返されねばならなくなるでしょう。しかし、それは生活の一部なのです。

問二 この作業として最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 料理 イ 洗濯 ウ 掃除 エ 裁縫

次に「書く力・読む力はどうすれば鍛えられるのか」という章では、「想像力が言語コミュニケーションを円滑にする」という見出しに、アキラさんは着目した。以下の【文章】は、コミュニケーションがうまく取れなかった例についての文章である。（設問の都合上、一部改変した箇所がある。）

【文章】

想像力が身につけていない人は、メールなど文字だけの情報の場合、読んでも相手の意図を察することができないので、日常的に多くの失敗を経験していることだろう。しかも、その原因が自分自身にあると自覚していないため、何度も同じ失敗を繰り返してしまう。たとえば、次のように書かれたメールを仕事仲間のAさんからもらったとしよう。

例の案件ですが、次の日程で会議は可能ですか？

- | | | | |
|-------|-------|---|-------|
| ① 11日 | 10:00 | ～ | 11:00 |
| ② 12日 | 10:00 | ～ | 11:00 |
| ③ 14日 | 10:00 | ～ | 11:00 |
- 本日中に「ご返事ください」。

Bさんは、書かれた3つの日程のすべてで会議を行なうという意味に受け取って、「すべて出席します」と返事した。Cさんは、「3回分の会議を一度に決めるつもりだろうか？ それとも、3つの選択肢の中から1つを選べという意味だろうか。メールをくれた人はいつも一言足りない人だから、きつと“次の日程のいずれか”と書くつもりで間違っただけではないか……」と考えて、「いずれでも可能です」と返信した。その後しばらくして、またAさんから次のようなメールが届いたとする。

都合のよい人が一番多かった②の案にします。
ご出席ください。

Cさんは、自分の想像が正しかったことを知る。Bさんは、それでも自分の誤読に気づかずに、「3回の会議を計画しておきながら、1回ですまそうとするのは※朝令暮改でけしからん。Aさんはいつも勝手に物事を決める※独善的な人だ」と怒り出してしまいかもしれない。会議だけでしか顔を合わせない（風通しの悪い）間柄では、こうした※些細な行き違いによって、誤解が誤解を生みエスカレートしやすい。これは日常的な事例だが、こうしたミスが大きな間違いにつながることもあるだろう。

はたしてAさんのメールの書き方が問題だったのだろうか？ それとも、Bさんのほうが悪いのだろうか？

（中略）

このような問題点を頭に入れたうえで、さらに想像力を身につけることが理想だろう。むしろ、Cさんのように想像力を働かせることができる人は、限られた手がかりであっても曖昧性を解消しながら柔軟に対応できそうである。言語コミュニケーションを通して円滑な人間関係を築くためにも、想像力を身につける意味があるのだ。

（語注）

- ・朝令暮改：決められた後から次々と法令などが改められて、定まらないこと。
- ・独善的：自分一人が正しいと思っている状態。ひとりよがりな様子。
- ・些細：取るにたらないほどたいしたことではない様子。

問三

本を読み終えたアキラさんは、本を読んだ感想を連休明けに先生に伝えることにした。次の文章はそのときのアキラさんと先生との【会話文】である。これを読み、以下の設問に答えなさい。

【会話文】

アキラ「先生からお借りした本を連休中に読みました。とてもおもしろかったです。」

先生「有言実行できていてすばらしいですね。どんな内容がおもしろかったですか。」

アキラ「本の中で、言葉が不十分で相手に真意が伝わらないメールの例がありました。自分にも似たような経験があつて、些細な間違いをしてしまったことがあります。このようなことが起こらないようにするために、何をすればいいのかがわからなかったのですが、本を読んだことを通じて、少しわかったような気がします。」

先生「本の内容を自分事に置きかえて理解することができたんですね。わかったことはどんなことですか。」

アキラ「連休前の先生との話から、自分を含め高校生の読書をする人の割合が低いことがわかりました。そのことと言葉の誤解が生じやすいことには関係があると考えました。だから、読書を行うことによつて、コミュニケーション能力を向上させることができれば、より円滑な人間関係を築いていけると思います。」

(1) 傍線部について、【文章】におけるAさんのメールの日程(①11日 10:00～11:00)の前に、どのような一文があれば、Aさんの真意がBさんに伝わりますか。適切な一文を考えて書きなさい。

(2) 「読書」と「コミュニケーション能力」との関係について、あなたはどのように考えますか。以下の条件に注意して、百八十字以上二百二十字以内で記述しなさい。

(条件)

- 1 一マス目から書き終わりまでの間に空欄がないように縦書きしなさい。文の区切りであっても改行はしないこと。
- 2 自分の考えと、そう思う理由を、問題全体をふまえて具体的に示して書きなさい。